

令和5年度マイスター・ハイスクール事業 成果発表会 講評シート

学校名(福井県立若狭高等学校)

1. 取組についての評価

○当校へはこれまで2度視察に訪れており、Well-being実現に向け、高大連携、対話を採り入れた授業、地元学の推進等、他校のモデルになり得る取組を多面的に行い、その成果を積極的に発信していると捉えている。

2. 今後の課題と考えられること

○事業を通して生徒にどのような能力向上がみられたのか、定性的な評価によって纏められている。取組の内容自体はモデルになり得るものと評価するものの、今後の横展開を考慮した場合、より定量的な評価を試みる必要があるだろう。

○来年度以降も伴走支援によって全国的に他校の情報が入るようにしてほしいとの要望があり、今後の自走段階における伴走支援のあり方は検討を要する。また、企業の継続的な協力を得るためには、「協育企業」としての認証制度の採用が提案されたが、今後検討を要するものと受け止めた。